

私たちの仕事は、特別な日を創ることです

CERESPO

NEWS

vol.
96

September
2017

40th
and more

セレスポ

セレスポ・ニュース
平成29年9月発行
第96号

第38回 九都県市合同防災訓練

(ビッグレスキューかながわ)

ボランティアから警察、
自衛隊までが**一致団結!**

セレスポ
Pick Up

2017昭和記念公園
トライアスロンフェスティバル
オールキッズ&全国高校生大会
企業ボランティアに参加しました!





第38回 九都県市合同防災訓練 (ビッグレスキューかながわ)

防災に関わる機関が一致団結!

合同防災訓練

9月1日、神奈川県小田原市で「九都県市合同防災訓練」が開催されました。同訓練は今年で38回目の開催。警察や消防、地方自治体、ボランティア団体のほか、陸上自衛隊や海上保安庁、在日米軍など、災害時に救援救助活動を行う団体が小田原に集結し、合同で防災訓練を行いました。

関東3,600万人の安心安全を守る大規模な訓練

合同防災訓練は、昭和55年、1980年に初めて開催されました。日本人口のうち3,600万人あまりが住む関東圏で震災被害を最小限に食い止めるため、埼玉、千葉、東京、神奈川、川崎、横浜の6都県市が合同で防災訓練を実施。その

後、千葉市、さいたま市、相模原市が加わり、現在では9都県市が協力、連携して救援救助活動の訓練を行っています。

訓練は8月末から9月頭にかけて9都県市各地で行われ、9月1日にはいずれかの自治体が主導する大規模な合同訓練を実施。東日本大震災以降は「より実践的な訓練」を目指し、実際の地震発生を想定して消防から陸上自衛隊までが連

携した大規模な訓練が行われています。



地震体験車



降雨体験車

Interview



準備段階から訓練のような意識を持って取り組みました

合同防災訓練は前回主催だった都県市から情報をもらいながら、多くの職員が分担して取り組むなど、企画段階から多くの人が関わっていきます。今回は、海に近いこともあり本格的な津波の防災訓練を計画しており、近くの西湘バイパスを通行止めにするなども考えていました。セレスポさんには企画段階から協力してもらい、通行止めの告知や市民への呼びかけ(宣伝)など大きなところから細かな部分までアドバイスいただきました。どうしても関わる人数が多いため、突然決定すること、情報が曖昧なこともありましたが、すぐに対応して

くれてとても助かりました。

防災意識も同じですね。地震が起きて時間が過ぎるほど被害は拡大していきます。その間に如何に的確な情報を手に入れて、素早く対応していくか。どうしても曖昧な情報が得られないときでも、なるべく的確な行動ができるように考えていく。訓練では各機関が協力して、次から次へとバトンを渡していましたが、準備段階も同じように的確に次の人へバトンを渡していくことを意識しました。災害はいつ起きるかわかりません。常に備えておくことが大事です。来年は例年と同じ防



神奈川県
安全防災局安全防災部災害対策課
応急対策グループ 主事
横山 翔一(よこやま しょういち)さま
写真前列左

災訓練を行います。またセレスポさんと一緒にできるなら今年を越えるような防災訓練を一緒に実施したいと考えています。



REPORT

担当者の後ろにも 誰かがいる 常に真意を考えながら 確実に仕事をする

株式会社セレスポ
横浜支店



本訓練でセレスポは企画段階から関わらせていただきました。当日の会場設計から設営、駅から会場までのバス運行、警備、ナレーターの手配、酒匂川の河川敷をお借りするために土木事務所から国交省までの申請など、運営全般も担当しました。

神奈川県庁、小田原市役所のかたが県警から在日米軍など多くの関係機関の意見を集約してくれていました。それを伝えてもらったときには、担当者さんの後ろにも必ず誰か担当者さんがいると考えて「真意はなんだろう」と考えながら取り組んでいました。「もう少し詳しい情報が欲しいな」と思っても、担当者さんも同じように考えているのかもしれない。真意を考えて「こうするとどうですか?」と提案して、確実に仕事をしていくことが大事だと考えていました。

本訓練では、実際に災害が起きたときに各機関が協力、連携できるような訓練を行い、市民のかたに訓練を見てもらうことで「こういう人たちが街を守ってくれているんだ」と知ってもらう。また、災害や防災訓練を体験してもらう。いろいろな機関、人の想いがひとつになっています。

すべての訓練が終了したあと、お客様から「セレスポさんも一緒に集合写真に入ってよ」と誘ってもらえました。こう声をかけていただけると、みなさんの想いをひとつにできたんだととても嬉しくなります。関わる人が多いときは大変な面もありますが、それだけ達成感ややり甲斐を感じます。来年、再来年もぜひ関わらせてもらえたら嬉しいです。

(松本夏海 写真 前列左から二番目)



大規模な演習と市民参加型の訓練が体感できる

第38回は神奈川県が小田原市と協力して、酒匂川の河川敷から河口周辺を使って合同訓練が行われました。津波対策訓練は9:30に地震が発生したことを想定し、被害状況の情報収集をしながら、市民の誘導をスタート。河口そばの中学校では、津波が起きた際に校舎に取り残された生徒をヘリコプターで救出する演習を行いました。

中央会場では12時過ぎまで救出救助訓練が行われました。仮設された4階建てのビルや倒壊家屋、バスなどから被災者を救助、ヘリコプター搬送するほか、火災への対応、倒木を除去して通路の確保を行うなど、多くの機関、団体が迅速かつ的確な判断で連携していました。

会場には市民のかたなども参加できる訓練エリアも設けられ、救護や消火訓練、AEDの使いかたを教えるなど、防災意識を高める工夫もされました。展示エリアでは大型のショベルカーや救援車両、起震車などが並び、子どもからお年寄りまで多くのかたが防災に触れていました。

当日は台風の接近もあり、一部の訓練は中止になりましたが会場の熱気に押されて途中から雲が切れて青空が見えてきました。迅速に行動し、「次」にバトンを渡していく。各隊員たちの頼もしい姿



を見ながらも「自分たちでもできることをやろう」と言う気持ちにもなれ、防災の大切さをあらためて知る機会となりました。

EventData

- 第38回 九都県市合同防災訓練
- 2017年9月1日
- 小田原市酒匂川スポーツ広場
- 神奈川県、小田原市

セレスポ
Pick Up

2017昭和記念公園 トライアスロンフェスティバル オールキッズ&全国高校生大会 企業ボランティアに参加しました!

9月10日に昭和記念公園（東京都立川市）にて開催された2017昭和記念公園トライアスロンフェスティバル オールキッズ&全国高校生大会（主催：公益社団法人日本トライアスロン連合）に、企業ボランティアとして参加しました。

同大会は、未来のトライアスリートを支援することを目的に、小中学生を対象として開催されています。当日は時折強い日差しをみせるも心地よい風が吹く穏やかな天気の中、約600名のキッズトライアスリートたちが自身の記録更新・完走を目指しました。

10名のセレスポ社員がボランティアスタッフとして参加し、ゴールエリアのエイドゾーンにて給水準備と選手への配布をおこないました。様々な子どもたちの表情や、ご両親、友人と完走を喜び合う光景を見られるのはゴールエリアならではの、多くの笑顔と活気に触れ、「支える」というスポーツへの携わりかたを知ることができる貴重な体験となりました。



©Satoshi TAKASAKI/JTU



©Satoshi TAKASAKI/JTU



©Satoshi TAKASAKI/JTU



参加者の声



ゴールエリアで、完走した小中学生に声をかけてメダルを渡す担当でした。ボランティア活動は初参加ですが、喜びや達成に満ちた子どもたちの表情を見て、活動に取り組みながらも応援にも力が入りました。選手やそのご家族、ボランティア、沿道からの応援など、多くの人の気持ちが一つになって、大会を盛り上げていると感じました。また機会があれば参加したいと思います。（経理部/久保田）



発行

発行日：平成29年9月25日

発行元 株式会社セレスポ (CERESPO CO.,LTD.)
〒170-0004 東京都豊島区北大塚1-21-5 (本社)
TEL : 03(5974)1111 FAX: 03(5394)7651
<http://www.cerespo.co.jp/>

編集 山川 譲 (yawn)
記事 コーポレートデザイン室
デザイン 山本制作所

編集後記

今回特集した九都県市合同防災訓練が実施された9月1日は防災の日。台風、高潮、津波、地震等の災害についての認識を深めて、それらの災害に対処する心構えを準備するためとして1960年に制定されました。地域によって若干違いはあるかもしれませんが、小中学生の頃に「お(さない)、か(けない)、し(やべらない)、も(どらない)」の合言葉で避難訓練に取り組んだことも記憶にあるのではないのでしょうか。普段から防災に向き合うことはあまりないかもしれませんが、この機会にいま一度、備蓄している防災グッズを見直したり、家族で災害時の集合場所や避難経路を再確認したり、見直してみるといいかもしれません。